

$a > b > 0$  として、座標平面上の楕円  $\frac{x^2}{a^2} + \frac{y^2}{b^2} = 1$  を  $C$  とおく.  $C$  上の点  $P(p_1, p_2)$  ( $p_2 \neq 0$ ) における  $C$  の接線を  $l$ , 法線を  $n$  とする.

- (1) 接線  $l$  および法線  $n$  の方程式を求めよ.  
 (2) 2点  $A(\sqrt{a^2 - b^2}, 0)$ ,  $B(-\sqrt{a^2 - b^2}, 0)$  に対して、法線  $n$  は  $\angle APB$  の二等分線であることを示せ.

(21 お茶の水女大理(数・物・情)5)

【答】

(1)  $l: \frac{p_1 x}{a^2} + \frac{p_2 y}{b^2} = 1$ ,  $n: \frac{p_2}{b^2} x - \frac{p_1}{a^2} y = \frac{a^2 - b^2}{a^2 b^2} p_1 p_2$

(2) 略

【解答】

$$C: \frac{x^2}{a^2} + \frac{y^2}{b^2} = 1 \quad (a > b > 0)$$

(1) 楕円  $C$  上の点  $P(p_1, p_2)$  ( $p_2 \neq 0$ ) における接線  $l$  の方程式は

$$\frac{p_1 x}{a^2} + \frac{p_2 y}{b^2} = 1 \quad \dots\dots(\text{答})$$

であり、法線  $n$  の方程式は

$$\frac{p_2}{b^2} (x - p_1) - \frac{p_1}{a^2} (y - p_2) = 0$$

$$\therefore \frac{p_2}{b^2} x - \frac{p_1}{a^2} y = \frac{a^2 - b^2}{a^2 b^2} p_1 p_2 \quad \dots\dots(\text{答})$$

である.

(2) 法線  $n$  が  $\angle APB$  の二等分線であることを示すには、 $n$  と  $x$  軸との交点を  $Q$  とおくと

$$AP : PB = AQ : QB$$

が成り立つことを示せばよい.

$$\sqrt{a^2 - b^2} = c \text{ とおくと}$$

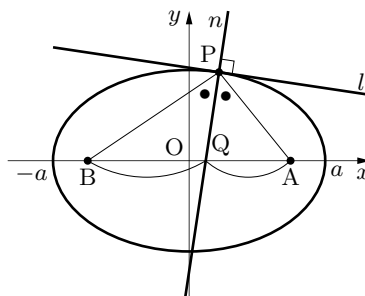
$$A(c, 0), \quad B(-c, 0)$$

である.

$$\begin{aligned} AP^2 &= (p_1 - c)^2 + p_2^2 \\ &= (p_1^2 - 2cp_1 + c^2) + b^2 \left(1 - \frac{p_1^2}{a^2}\right) \quad \left(\because \frac{p_1^2}{a^2} + \frac{p_2^2}{b^2} = 1\right) \\ &= \left(1 - \frac{b^2}{a^2}\right) p_1^2 - 2cp_1 + b^2 + c^2 \\ &= \frac{c^2}{a^2} p_1^2 - 2cp_1 + a^2 \quad (\because a^2 - b^2 = c^2) \\ &= \left(\frac{c}{a} p_1 - a\right)^2 \end{aligned}$$

ここで、 $p_2 \neq 0$  より  $-a < p_1 < a$  であり、また  $\frac{c}{a} > 0$  であるから

$$\frac{c}{a} p_1 - a < \frac{c}{a} \cdot a - a = c - a = \sqrt{a^2 - b^2} - a < 0$$



である。したがって

$$AP = a - \frac{c}{a}p_1$$

である。また、楕円の定義から  $AP + PB = 2a$  であるから

$$PB = 2a - AP = 2a - \left(a - \frac{c}{a}p_1\right) = a + \frac{c}{a}p_1$$

であり

$$AP : PB = \left(a - \frac{c}{a}p_1\right) : \left(a + \frac{c}{a}p_1\right) = (a^2 - cp_1) : (a^2 + cp_1)$$

である。

また、Q の  $x$  座標は、(1) より

$$\begin{aligned} \frac{p_2}{b^2}x &= \frac{a^2 - b^2}{a^2b^2}p_1p_2 \\ \therefore x &= \frac{c^2}{a^2}p_1 \quad (\because \sqrt{a^2 - b^2} = c) \end{aligned}$$

であるから

$$AQ : QB = \left(c - \frac{c^2}{a^2}p_1\right) : \left(\frac{c^2}{a^2}p_1 - (-c)\right) = (a^2 - cp_1) : (a^2 + cp_1)$$

である。よって

$$AP : BP = AQ : BQ$$

が成り立つから、 $n$  は  $\angle APB$  の二等分線である。

…… (証明終わり)